

## 関東沖縄IT協議会



関東沖縄IT協議会の10年の節目を祝う会員ら＝16日、東京・霞が関

# 10周年の節目祝う



端山浩幸会長

## 新会長に端山氏「技術部会設けたい」

県出身のIT企業経営者らでつくる関東沖縄IT協議会は16日、東京・霞が関で第10回総会を開いた。役員改選で新会長に端山浩幸ワース・テクノロジ代表取締役社長、副会長に大城宜智リックコミュニケーション代表取締役が就任した。多くの会員らが出席し、協議会発足から10周年の節目を祝った。

端山会長は「協議会に技術部会などを設けて、技術展開を図りたい。会員間取引を4億円にしたい」と目標を掲げた。

これまで会長を務めていた平良忠信クリエイト工房社長は名誉会長となった。

総会では昨年度の活動報告、本年度から会員間の交流をさらに活発にしようとするにバーベキュー大会を開く。これまで同様に隔月1回のビジネス情報交換会を開催、ビジネス部会で営業強化を学ぶという。

懇親会では泡盛などが当たる抽選会や琉舞、ライブなどがあり、会員らは泡盛を酌み交わしながら親睦を深めた。

総会の記念講演では、県東京事務所所長盛田光尚企業誘致対策監が「沖縄県の情報通信関連産業振興について」と題し講演した。沖縄IT津梁パークや沖縄情報通信センターの整備などを紹介し、沖縄と本土間の情報通信費の一部を支援して企業誘致を図る「新情報通信費低減化支援事業」など、県が進めるIT関連の事業を説明した。

©琉球新報 無断複製・転載を禁止します